

吉原地区公開活用施設「旧鳥路邸」完成記念講演会 『くちや美川』吉原入江」開催

吉原地区は、令和8年3月末に舞鶴市の伝統的建造物群保存地区に選定されます。地区の中央に位置し、地域の生活と密接に関わりながら存続してきた吉原入江は、地区のなかでも歴史的・景観的に特に重要な構成要素です。かつては「くちやみ川」とも呼ばれたこの入江をどのように守り、活用していくかを地域住民と一緒に考える講演会を開催します。

本講演会では、併せて令和7年度に公開活用施設として改修した旧鳥路邸の完成を記念し、改修の内容についても解説します。

記

- 講演会名:「くちや美川」吉原入江
- 日時 : 令和8年2月23日(月・祝)
13時30分～14時30分
- 会場 : 旧鳥路邸(舞鶴市西吉原25番地)
- 講師 : 坂根 一彰 氏(株式会社坂根工務店 常務取締役)
鶴岡 典慶 氏(京都女子大学 家政学部 教授)
- 参加費 : 無料
- 内容 : 吉原入江の保存と活用方針について講演
旧鳥路邸改修内容の解説

【旧鳥路邸改修の経過】

旧鳥路邸の改修事業は、京都女子大学への研究委託により、同大学の鶴岡教授が改修計画を策定しました。改修施工は(株)坂根工務店に発注し、坂根常務に施工をご担当いただきました。

